

## TOP 10 NEW HOTELS 2014

世界の素敵なホテルを厳選した宿泊予約サイト Tablet Hotels (<http://www.tablethotels.jp/>) が、2014年のベストホテルを発表。本年度サイトに登場したホテルの中から、特に独創性が高く印象に残った以下の10軒を選出いたしました。

[25Hours Hotel Bikini Berlin](#) (ドイツ・ベルリン)

[URSO Hotel & Spa Madrid](#) (スペイン・マドリッド)

[Awasi Patagonia](#) (チリ・パタゴニア)

[Baltazar Budapest](#) (ハンガリー・ブタペスト)

[Conti di San Bonifacio](#) (伊トスカーナ州・グロッセート)

[Sparrows Lodge](#) (米カリフォルニア州・パームスプリングス)

[ION Luxury Adventure Hotel](#) (アイスランド)

[Rosewood London](#) (イギリス・ロンドン)

[1872 River House](#) (ポルトガル・ポルト)

[The Temple Hotel](#) (中国・北京) ※順不同

各ホテルの詳細につきましては、次ページまたは下記URLをご参照ください。

<http://magazine.tablethotels.com/ja/2014/12/best-10-hotels-of-2014/>

### Tablet Hotelsとは？

ホテルにこだわりを持つ旅行者のために、独自のテイストで世界中から個性溢れるホテルを厳選した宿泊予約サイト。現在10カ国語で展開、世界に100万以上のユーザーを有する。取り扱いホテルは約2,000軒。実際に宿泊したユーザーの評価が一定基準を下回るとそのホテルをサイトから自動的に除外し、セレクションのクオリティ維持に努めている。2012年より、オリジナルの[トラベル Web マガジン](#)も配信中。運営会社：Tablet Inc. (本社所在地 6 West 18th Street, 3rd Floor New York, NY 10011 USA, IATA# 33-6-9828-0)

このニュースについてのお問合せは Tablet Japan 諸星 (もろほし) までご連絡ください。

Tel 03-5772-6284 Fax 03-5772-6285 Email [ayaka@tablethotels.jp](mailto:ayaka@tablethotels.jp)

## 【1】 25Hours Hotel Bikini Berlin (25アワーズ・ホテル・ビキニ・ベルリン)



有機的なデザインにその地域の特色を取り入れて、新しいカルチャーを生み出すのが得意な、ドイツ発「25アワーズ」グループがベルリンで選んだのは、動物園に隣接するロケーション。“アーバン・ジャングル”をコンセプトにしたホテルだけに、客室にはハンモックが備えられ、窓からはティーアガルテン公園の美しい緑が見下ろせます。

## 【2】 URSO Hotel & Spa Madrid (ウルソ・ホテル・アンド・スパ・マドリッド)



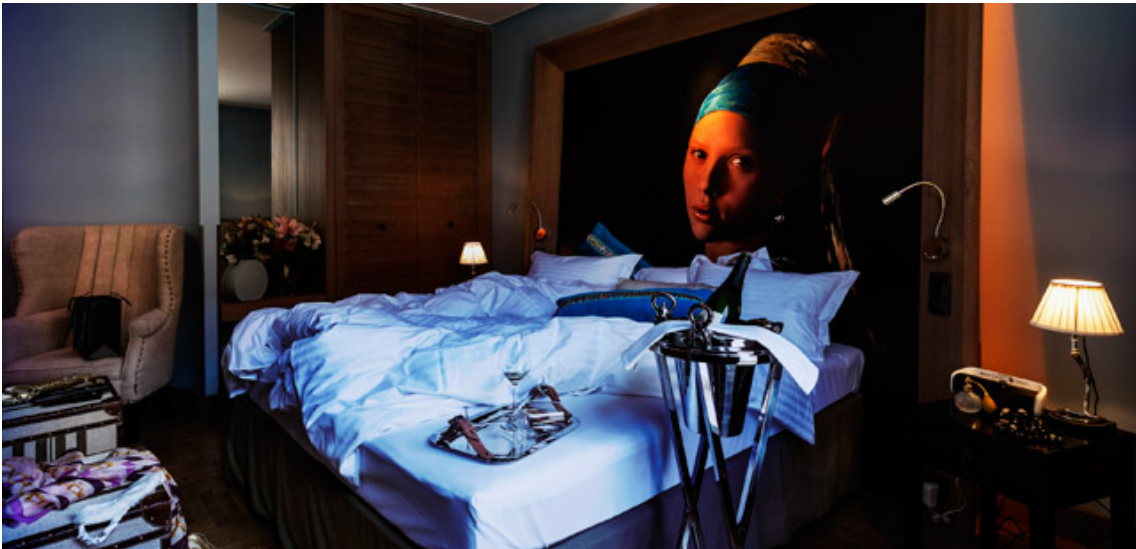
マジョルカ島の要塞を改装したホテル「Cap Rocat」のデザイナーとしても知られるアントニオ・オブラドル（Antonio Obrador）が、19世紀のネオクラシック様式の建造物を、モダンで品のあるインテリアと融合させた一軒。壁に施したシノワズリや植栽の緑がアクセントとなり、よりエレガントで華やかな印象に。

### 【3】 Awasi Patagonia (アワシ・パタゴニア)



南米のパタゴニア地域には近年、ユニークな自然環境とダイナミックな建築を掛け合わせた“ハイパー・モダン”なラグジュアリーホテルが多く誕生しています。アタカマ砂漠で成功を収めた「アワシ」がトーレス・デル・パイネ国立公園にオープンしたのは、ひときわハイブリッドで洗練された12棟のロフトです。

### 【4】 Baltazar Budapest (バルタザール・ブダベスト)



クリエイターの想像力を持て余すことなくワイルドに体現した一軒。客室のインテリアはビンテージ調度や近代デザイナー家具をミックスしつつ、フェルメールからキース・ヘリング、摩訶不思議なトロンプイユの本棚や食料庫まで、幅広い美術史と表現法のヒントが取り入れられています。

## 【5】 Conti di San Bonifacio (コンティ・ディ・サン・ボニファーチオ)



緩やかに遠くへと広がるワインぶどう園とオリーブ畑、そして緑の木々に囲まれたトスカーナの丘に立つ全7室のファームハウスを見事にリノベーションして生まれたホテル。どのディテールにおいても、軽やかなデザインセンスが感じられ、モダンな高級ホテルの雰囲気漂います。

## 【6】 Sparrows Lodge (スパローズ・ロッジ)



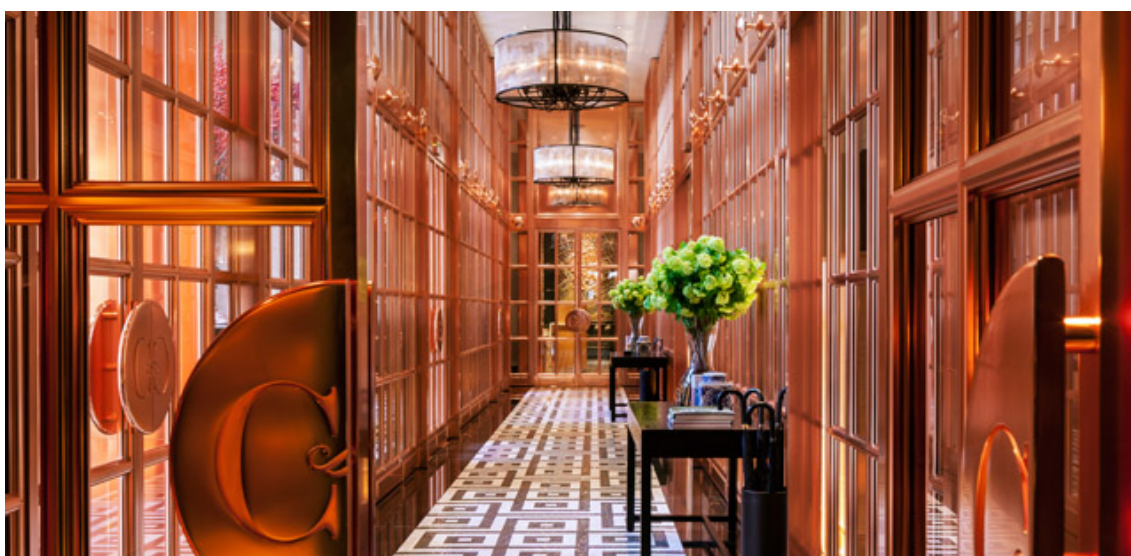
レッドウッドの備え付け家具、ブリキの屋根、暖炉のあるパティオ、石材の床、基調色となったアースカラー、剥き出しにした梁など、アウトドアな雰囲気たっぷり。しかも21歳以下はお断り。小さい頃に憧れた夢のようなサマーキャンプを、大人だけで楽しめる、贅沢なスポットなのです。

**【7】 ION Luxury Adventure Hotel** (イオン・ラグジュアリー・アドベンチャー・ホテル)



首都レイキャビクから車で1時間足らず。シンクヴェトリル国立公園の近くに誕生したこのホテルは、（パタゴニアの流行にヒントを得たような）ユニークな地形を最大限に活かすべくデザインされた超モダンな一軒。ヘンギル火山の地熱を利用したジャグジー&サウナで疲れを癒し、近代的アレンジを効かせた北欧料理に舌鼓。

**【8】 Rosewood London** (ローズウッド・ロンドン)



以前保険会社として使われていたベルエポック期の大建築物を、リユクスなホテルとして甦らせたのは、人気デザイナーのトニー・チー (Tony Chi)。贅沢さをごくさり気なく演出し、コンテンポラリーでありながらも建物の歴史を上手に意識した空間は、とってもロンドンらしいのと同時に国際性を感じさせます。

**【9】 1872 River House (1872・リバー・ハウス)**



ドウロ川沿いに佇む、たった8室のチャーミングなゲストハウス。剥き出しになった石壁、木製の古い床材、コロニアル調のアンティーク家具など、19世紀に建てられたタウンハウスの面影を残しつつ、現代のトラベラーが快適に過ごすための機能を備えています。素朴さを保ちながらも、洗練された仕上がりです。

**【10】 The Temple Hotel (ザ・テンプル・ホテル)**



約600年前に寺院として建造され、1970年代には中国初の白黒テレビ工場になったり(!)と、様々な用途に利用された後、廃虚となっていたこの敷地。2007年に現オーナーが発見し、カルチャー拠点として甦らせました。梁や柱、窓枠など、建物の主体は中国の伝統建築の要素をしっかりと残しつつ、客室内は気の利いた家具や色調のセレクトで驚くほど現代的な印象に。